

群馬大学大学院医学系研究科規程

| | | | | | |
|----|-------------|-------------|-------------|--|--|
| | 平成16. 4. 1 | 制定 | | | |
| 改正 | 平成18. 4. 1 | 平成19. 4. 1 | 平成19. 4. 17 | | |
| | 平成20. 4. 1 | 平成21. 4. 1 | 平成22. 4. 1 | | |
| | 平成23. 4. 1 | 平成24. 4. 1 | 平成25. 4. 1 | | |
| | 平成25. 10. 1 | 平成26. 4. 1 | 平成26. 10. 1 | | |
| | 平成27. 4. 1 | 平成27. 10. 1 | 平成28. 4. 1 | | |
| | 平成29. 4. 1 | 平成29. 5. 16 | 平成29. 10. 1 | | |
| | 平成30. 4. 1 | 平成31. 4. 1 | 令和 2. 4. 1 | | |
| | 令和 2. 9. 15 | 令和 3. 3. 1 | 令和 3. 4. 1 | | |
| | 令和 4. 4. 1 | 令和 5. 4. 1 | 令和 6. 4. 1 | | |

(趣 旨)

第1条 群馬大学大学院医学系研究科（以下「研究科」という。）に関し必要な事項は、群馬大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）及び群馬大学学位規則に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

(課程及び専攻等)

第2条 研究科の課程及び専攻等は、別表第1（修士課程）及び別表第2（博士課程）のとおりとする。

(講座主任及び専攻分野主任の設置)

第3条 博士課程医科学専攻の内科学講座及び総合外科学講座に、講座主任を置く。

- 2 博士課程医科学専攻の各専攻分野に、専攻分野主任を、それぞれ1人置く。
- 3 講座主任及び専攻分野主任に関し必要な事項は、別に定める。

(目 的)

第4条 修士課程生命医科学専攻は、医学の基礎知識の上に、発展を続ける生命科学を医学との関連において教授することにより、次の各号に掲げる人材の育成を目的とする。

- (1) 自らが研究を立案し遂行することのできる生命医科学研究者及び学際的医学研究者
- (2) 医学と生命科学の関連領域における高度専門職業人

2 博士課程医科学専攻は、次の各号に掲げる事項を目的とする。

- (1) 医の科学 (Science)、倫理 (Ethics)、技能 (Skill) の探求とそれらの統合による医学の研究と教育の推進並びに医学と医療をリードする人材の育成
- (2) 疾病の病因究明及び体系的治療戦略の開発を通じての社会への貢献
- (3) 優れた医学の研究者と教育者の育成を通じての社会への貢献
- (4) 高い倫理観と卓越した臨床能力を持つ医療人の育成を通じての社会への貢献

(授業科目及び単位数)

第5条 研究科における授業科目及び修得単位数は、別表第3（修士課程）及び別表第4（博士課程）のとおりとする。

(長期にわたる教育課程の履修)

第6条 大学院学則第16条の2に規定する長期にわたる教育課程の履修に関して必要な事項は、別に定める。

第7条 研究科における授業及び研究指導は、夜間その他特定の時間又は時期において行うことができる。

2 教育方法の特例に関して必要な事項は、別に定める。

(単位の計算方法)

第8条 授業科目の単位の計算方法は、講義及び演習については、毎週1時間、実験及び実習については毎週2時間、各15週の授業時間数をもって1単位とする。

(履修方法)

第9条 修士課程においては、第5条に規定する授業科目のうちから次の区分により32単位以上を履修しなければならない。

(1) 選択科目 4単位以上

(2) 選択必修科目 4単位以上

(3) 必修科目 24単位以上

2 博士課程においては、第5条に規定する授業科目のうちから次の区分により30単位以上を履修しなければならない。

(1) 共通科目 14単位

(2) 専門科目 16単位以上

3 学生は、入学当初、指導教員の承認を得て、履修しようとする授業科目を定め、医学系研究科長に届け出なければならない。

(成績の評価及び単位の認定)

第10条 授業科目の成績の評価については、試験、学習状況等によって担当教員が行うものとし、単位の認定は、医学系研究科教授会(以下「教授会」という。)の議を経て、医学系研究科長が行う。

(修了要件)

第11条 修士課程の修了要件は、修士課程に2年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間については、優れた研究業績を上げた者と医学系研究科長が認めた場合は、1年以上在学すれば足りるものとする。

2 博士課程の修了要件は、博士課程に4年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間については、優れた研究業績を上げた者と医学系研究科長が認めた場合は、3年以上在学すれば足りるものとする。

(論文及び最終試験)

第12条 博士論文の審査及び最終試験に関しては、別に定める。

(学位の授与)

第13条 修士課程を修了した者には、群馬大学学位規則に定めるところにより、修士(生命医科学)の学位を授与する。

2 博士課程を修了した者には、群馬大学学位規則の定めるところにより、博士(医学)

の学位を授与する。

(特別研究学生)

第14条 大学院学則第49条に定める特別研究学生に関しては、別に定める。

(特別聴講学生、科目等履修生、研究生、聴講生及び外国人留学生)

第15条 大学院学則第50条及び第51条に定める特別聴講学生、科目等履修生、研究生、聴講生及び外国人留学生に関しては、この規程に定めるもののほか、群馬大学医学部規程を準用する。

(その他)

第16条 この規程に定めるもののほか、研究科に関して必要な事項は、教授会の議を経て、医学系研究科長が別に定める。

(規程の改廃)

第17条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、医学系研究科長が行う。

附 則

- 1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第4は、平成20年度入学者から適用し、平成19年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第2及び第3は、平成20年度入学者から適用し、平成19年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1は、平成21年度入学者から適用し、平成20年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第4は、平成21年度入学者から適用し、平成20年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第2中、専門教育科目に係る規定は、平成21年度入学者から適用し、平成20年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 改正後の規程は、平成22年度入学者から適用し、平成21年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 改正後の規程は、平成23年度入学者から適用し、平成22年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1及び第2は、平成24年度入学者から適用し、平成23年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 改正後の規程は、平成25年度入学者から適用し、平成24年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成25年10月1日から施行する。
- 2 改正後の規程は、平成25年10月入学者から適用し、平成25年9月31日以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 改正後の規程は、平成26年度入学者から適用し、平成25年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成26年10月1日から施行する。
- 2 改正後の規程は、平成26年10月入学者から適用し、平成26年9月31日以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成27年10月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1は、平成27年度10月入学者から適用し、平成27年9月30日以前の入

学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 改正後の規程は、平成28年度入学者から適用し、平成27年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第3及び別表第4は、平成29年度入学者から適用し、平成29年3月31日以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成29年5月16日から施行する。
- 2 改正後の別表第4は、平成29年度10月入学者から適用し、平成29年9月30日以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成29年10月1日から施行する。
- 2 改正後の規程は、平成29年度入学者から適用し、平成28年度以前の入学者については、なお従前の例による。ただし、教育上必要と認められる場合には、改正後の別表第4に規定する授業科目を履修させ、単位を与えることができる。

附 則

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第3及び別表第4は、平成30年度入学者から適用し、平成29年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第3及び別表第4は、平成31年度入学者から適用し、平成30年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第4は、令和2年度入学者から適用し、令和元年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和2年9月15日から施行する。

- 2 改正後の別表第4は、令和3年度入学者から適用し、令和2年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和3年3月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1及び別表第2は、令和3年度入学者から適用し、令和2年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1から別表第4は、令和3年度入学者から適用し、令和2年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1、別表第2及び別表第4は、令和4年度入学者から適用し、令和3年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1、別表第2及び別表第4は、令和5年度入学者から適用し、令和4年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この改正は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第4は、令和6年度入学者から適用し、令和5年度以前の入学者については、なお従前の例による。

別表第1 (第2条関係)

| 課程 | 専攻 | 領域 | 講座 | 専攻分野 | |
|----------------|----------------|-----------|---------------|----------------|------------|
| 修士課程 | 生命医科学専攻 | 基礎・基盤医学領域 | 機能形態学講座 | 機能形態学分野 | |
| | | | 生体構造学講座 | 生体構造学分野 | |
| | | | 分子細胞生物学講座 | 分子細胞生物学分野 | |
| | | | 生化学講座 | 生化学分野 | |
| | | | 応用生理学講座 | 応用生理学分野 | |
| | | | 脳神経再生医学講座 | 脳神経再生医学分野 | |
| | | | 薬理学講座 | 薬理学分野 | |
| | | | 遺伝発達行動学講座 | 遺伝発達行動学分野 | |
| | | | 細菌学講座 | 細菌学分野 | |
| | | | 生体防御学講座 | 生体防御学分野 | |
| | | | 公衆衛生学講座 | 公衆衛生学分野 | |
| | | | 法医学講座 | 法医学分野 | |
| | | | 医学哲学・倫理学講座 | 医学哲学・倫理学分野 | |
| | | | 医学教育開発学講座 | 医学教育開発学分野 | |
| | | 臨床医学領域 | 内科学講座 | 循環器内科学分野 | |
| | | | | 呼吸器・アレルギー内科学分野 | |
| | | | | 消化器・肝臓内科学分野 | |
| | | | | 内分泌代謝内科学分野 | |
| | | | | 腎臓・リウマチ内科学分野 | |
| | | | | 血液内科学分野 | |
| | | | | 脳神経内科学分野 | |
| | | | | 腫瘍内科学分野 | |
| | | | | 総合外科学講座 | 循環器外科学分野 |
| | | | | | 呼吸器外科学分野 |
| | | | 消化管外科学分野 | | |
| | | | 乳腺・内分泌外科学分野 | | |
| | | | 肝胆膵外科学分野 | | |
| | | | 小児外科学分野 | | |
| | | | 腫瘍放射線学講座 | | 腫瘍放射線学分野 |
| | | | 放射線診断核医学講座 | | 放射線診断核医学分野 |
| | | | 神経精神医学講座 | | 神経精神医学分野 |
| | | | 麻酔神経科学講座 | | 麻酔神経科学分野 |
| | | | 救急医学講座 | | 救急医学分野 |
| | | | 総合医療学講座 | | 総合医療学分野 |
| | | | リハビリテーション医学講座 | リハビリテーション医学分野 | |
| | | | 臨床検査医学講座 | 臨床検査医学分野 | |
| 病態病理学講座 | 病態病理学分野 | | | | |
| 病理診断学講座 | 病理診断学分野 | | | | |
| 小児科学講座 | 小児科学分野 | | | | |
| 産科婦人科学講座 | 産科婦人科学分野 | | | | |
| 泌尿器科学講座 | 泌尿器科学分野 | | | | |
| 脳神経外科学講座 | 脳神経外科学分野 | | | | |
| 眼科学講座 | 眼科学分野 | | | | |
| 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野 | | | | |
| 皮膚科学講座 | 皮膚科学分野 | | | | |
| 形成外科学講座 | 形成外科学分野 | | | | |
| 整形外科学講座 | 整形外科学分野 | | | | |
| 臨床薬理学講座 | 臨床薬理学分野 | | | | |
| 口腔顎顔面外科学講座 | 口腔顎顔面外科学分野 | | | | |
| 医療の質・安全学講座 | 医療の質・安全学分野 | | | | |

| | | | |
|--|--|------|--|
| | | | (医学部附属病院) 臨床試験学分野 情報医療学分野 (生体調節研究所) 細胞構造分野 代謝エピジェネティクス分野 生体膜機能分野 個体代謝生理学分野 内分泌・代謝システム制御分野 分子糖代謝制御分野 代謝疾患医科学分野 粘膜エコシステム制御分野 ゲノム科学リソース分野 代謝シグナル解析分野 (重粒子線医学研究センター) 重粒子線医学物理学分野 重粒子線医学生物学分野 重粒子線臨床医学分野 (食健康科学センター) 食健康科学分野 (数理データ科学センター) 数理データ科学分野 (未来先端研究機構) 遺伝子治療学分野 |
| | | 協力講座 | |
| | | 連携講座 | (量子科学技術研究開発機構高崎量子応用研究所) 生体機能解析学分野 |

別表第2 (第2条関係)

| 課程 | 専攻 | 領域 | 講座 | 専攻分野 |
|----------------|----------------|-------------------|------------|----------------|
| 博士課程 | 医科学専攻 | 基礎・ 基盤医学 領域 | 機能形態学講座 | 機能形態学分野 |
| | | | 生体構造学講座 | 生体構造学分野 |
| | | | 分子細胞生物学講座 | 分子細胞生物学分野 |
| | | | 生化学講座 | 生化学分野 |
| | | | 応用生理学講座 | 応用生理学分野 |
| | | | 脳神経再生医学講座 | 脳神経再生医学分野 |
| | | | 薬理学講座 | 薬理学分野 |
| | | | 遺伝発達行動学講座 | 遺伝発達行動学分野 |
| | | | 細菌学講座 | 細菌学分野 |
| | | | 生体防御学講座 | 生体防御学分野 |
| | | | 公衆衛生学講座 | 公衆衛生学分野 |
| | | | 法医学講座 | 法医学分野 |
| | | | 医学哲学・倫理学講座 | 医学哲学・倫理学分野 |
| | | | 医学教育開発学講座 | 医学教育開発学分野 |
| | | 臨床医学 領域 | 内科学講座 | 循環器内科学分野 |
| | | | | 呼吸器・アレルギー内科学分野 |
| | | | | 消化器・肝臓内科学分野 |
| | | | | 内分泌代謝内科学分野 |
| | | | | 腎臓・リウマチ内科学分野 |
| | | | | 血液内科学分野 |
| | | | | 脳神経内科学分野 |
| | | | | 腫瘍内科学分野 |
| | | | 総合外科学講座 | 循環器外科学分野 |
| | | | | 呼吸器外科学分野 |
| | | | | 消化管外科学分野 |
| | | | | 乳腺・内分泌外科学分野 |
| | | | | 肝胆膵外科学分野 |
| | | | | 小児外科学分野 |
| | | | 腫瘍放射線学講座 | 腫瘍放射線学分野 |
| | | | 放射線診断核医学講座 | 放射線診断核医学分野 |
| | | | 神経精神医学講座 | 神経精神医学分野 |
| | | | 麻酔神経科学講座 | 麻酔神経科学分野 |
| | | | 救急医学講座 | 救急医学分野 |
| 総合医療学講座 | 総合医療学分野 | | | |
| リハビリテーション医学講座 | リハビリテーション医学分野 | | | |
| 臨床検査医学講座 | 臨床検査医学分野 | | | |
| 病態病理学講座 | 病態病理学分野 | | | |
| 病理診断学講座 | 病理診断学分野 | | | |
| 小児科学講座 | 小児科学分野 | | | |
| 産科婦人科学講座 | 産科婦人科学分野 | | | |
| 泌尿器科学講座 | 泌尿器科学分野 | | | |
| 脳神経外科学講座 | 脳神経外科学分野 | | | |
| 眼科学講座 | 眼科学分野 | | | |
| 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野 | | | |
| 皮膚科学講座 | 皮膚科学分野 | | | |
| 形成外科学講座 | 形成外科学分野 | | | |
| 整形外科学講座 | 整形外科学分野 | | | |
| 臨床薬理学講座 | 臨床薬理学分野 | | | |
| 口腔顎顔面外科学講座 | 口腔顎顔面外科学分野 | | | |
| 医療の質・安全学講座 | 医療の質・安全学分野 | | | |

| | |
|-------------------------|---|
| (協力講座) | |
| (医学部附属病院) | |
| 臨床試験学講座 | 臨床試験学分野 |
| 情報医療学講座 | 情報医療学分野 |
| (生体調節研究所) | |
| 高次細胞機能解析学講座 | 細胞構造分野 生体膜機能分野 |
| 代謝・内分泌学講座 | 代謝エピジェネティクス分野 個体代謝生理学分野 内分泌・代謝システム制御分野 分子糖代謝制御分野 代謝疾患医学分野 粘膜エコシステム制御 代謝シグナル解析分野 |
| 遺伝情報・発現学講座 | ゲノム科学リソース分野 |
| (重粒子線医学研究センター) | |
| 重粒子線医学講座 | 重粒子線医学物理学分野 重粒子線医学生物学分野 重粒子線臨床医学分野 |
| (食健康科学教育研究センター) | |
| 食健康科学講座 | 食健康科学分野 |
| (数理データ科学教育研究センター) | |
| 数理データ科学講座 | 数理データ科学分野 |
| (未来先端研究機構) | |
| 遺伝子治療学講座 | 遺伝子治療学分野 |
| (連携講座) | |
| (量子科学技術研究開発機構高崎量子応用研究所) | |
| 生体機能解析学講座 | 生体機能解析学分野 |

別表第3 (第5条関係)

修士課程

| 分野 | 授 業 科 目 | 単 位 | | | 区分 | 備 考 |
|---------------------|-------------------|-----|----|----|----|--|
| | | 講義 | 演習 | 実習 | | |
| 研究 | 生命医科学方法論演習 | | 2 | | 必修 | |
| | 生命医科学研究特論 | | 10 | | 必修 | |
| | 研究発表討論セミナー | | 1 | | 必修 | |
| 基礎 | 研究倫理 | 1 | | | 必修 | 4単位以上 但し、※1、※2及び (*)は「医学物理コース」又は「放射線生命医科学コース」のみ履修可、※3は「医学物理コース」のみ履修可、※4は「医理工連携コース」のみ履修可 医学物理コースの者は、 ※1の科目を必修で履修 ※2の科目を選択で履修 ※3の科目を本大学院入学時に履修していない学生のみ履修 (e-learning含む。) 医理工連携コースの者は、 ※4の科目を選択で履修 2単位以上 |
| | 研究倫理 (e-learning) | 1 | | | 必修 | |
| | 臨床医学概論 | 2 | | | 必修 | |
| | 生命倫理学講義 | 2 | | | 必修 | |
| | 基礎医学外国語 | 2 | | | 必修 | |
| | 統計・情報処理演習 | | 2 | | 必修 | |
| | 生命医科学基礎実習 | | | 1 | 必修 | |
| | 生体構造学講義 | 2 | | | 選必 | |
| | 生理機能解析学講義 | 2 | | | 選必 | |
| | 生体分子情報学講義 | 2 | | | 選必 | |
| | 社会・環境医学講義 | 2 | | | 選必 | |
| | 動物実験学演習 | | 2 | | 選必 | |
| | 情報処理学・画像工学※1 | 2 | | | 選必 | |
| | 放射線生物学※1(*) | 1 | | | 選必 | |
| | 放射線基礎物理学※1 | 2 | | | 選必 | |
| | 医用加速器工学※2(*) | 1 | | | 選必 | |
| | 放射線関連法規および勧告※1 | 1 | | | 選必 | |
| | 力学※3 | 2 | | | 選必 | |
| | 電磁気学※3 | 2 | | | 選必 | |
| | 解剖学※3 | 1 | | | 選必 | |
| | 生理学※3 | 1 | | | 選必 | |
| | 病理学※3 | 2 | | | 選必 | |
| | 量子力学※3 | 2 | | | 選必 | |
| | 原子核物理学※3 | 2 | | | 選必 | |
| | 物理数学※3 | 1 | | | 選必 | |
| | 計測制御工学特論※4 | 2 | | | 選必 | |
| | 基礎医用工学特論※4 | 2 | | | 選必 | |
| 光デバイス工学特論※4 | 2 | | | 選必 | | |
| 電子物性特論※4 | 2 | | | 選必 | | |
| 先端計測デバイス特論※4 | 2 | | | 選必 | | |
| 電子工学特論※4 | 2 | | | 選必 | | |
| シミュレーションとナノ計測工学特論※4 | 2 | | | 選必 | | |
| 基礎 ・ 実践 | 放射線学シミュレータ特論 | 2 | | | 選必 | 「放射線生命医科学コース」のみ履修可 2単位以上 |
| | 放射線画像技術学特論 | 2 | | | 選必 | |
| | 放射線画像解析学特論Ⅰ | 2 | | | 選必 | |
| | 放射線画像解析学特論Ⅱ | 2 | | | 選必 | |
| | 放射線安全管理特論 | 2 | | | 選必 | |
| | 病理学概論 | 2 | | | 選択 | 4単位以上 但し、※1、※2及び (*)は「医学物理コース」又は「放射線生命医科学コース」のみ履修可 |
| | 細菌感染制御学講義 | 2 | | | 選択 | |
| | 神経科学講義 | 2 | | | 選択 | |
| | 臨床腫瘍学講義※2(*) | 2 | | | 選択 | |
| | 臨床検査・画像核医学講義※2 | 2 | | | 選択 | |
| | 生殖再生・発育医学講義 | 2 | | | 選択 | |
| | 情報医療学講義(*) | 2 | | | 選択 | |
| | 国際公衆衛生学講義 | 2 | | | 選択 | |
| | 加速器バイオ工学講義 | 2 | | | 選択 | |

| | | | | | | |
|---------|---------------------------|----------------------------|---|----|-----------|--|
| 実践 | 薬理学・創薬演習 | | 2 | | 選択 | 医学物理コースの者は、 ※1の科目を必修で履修 ※2の科目を選択で履修 (e-learning含む。) |
| | 臨床試験（治験）学演習 | | 2 | | 選択 | |
| | ゲノム医科学演習 | | 2 | | 選択 | |
| | 機能回復医学・社会学演習 | | 2 | | 選択 | |
| | 放射線治療物理学講義※1 | 2 | | | 選択 | |
| | 放射線診断・核医学物理学講義※1 | 2 | | | 選択 | |
| | 保健物理・放射線防護学講義※1 | 2 | | | 選択 | |
| | 放射線計測学講義※1 | 2 | | | 選択 | |
| | 医学物理演習※1（*） | | 1 | | 選択 | |
| | 医学物理実習※1（*） | | | 1 | 選択 | |
| | 重粒子線治療講義※2 | 2 | | | 選択 | |
| 大学院共通科目 | 群馬大学大学院共通科目に関する内規別表に定める科目 | 群馬大学大学院共通科目に関する内規別表に定めるとあり | | 選択 | 希望する者は履修可 | |

別表第4（第5条関係）

博士課程

| | 科目区分 | 授業科目名 | 講義 | 演習 | 実習 | 履修方法 |
|-----------------|-------------|------------------|----|----|--|---|
| 共通科目 | 基礎連続講義 | 研究倫理 | 1 | | | 指導教員が指定する科目1単位を含み、3単位以上を履修する。 「研究倫理」及び「研究倫理（e-learning）」は必修。ただし、本研究科生命医科学専攻、保健学研究科保健学専攻前期課程及び学環において「研究倫理」を修得済みの場合は履修不要（「研究倫理（e-learning）」のみ受講する。）。 「がんプロ共通科目」（e-learning）を1単位まで含むことができる。 「関東次世代がん専門医療人養成コース」の者は、「研究倫理」及び「研究倫理（e-learning）」以外は必修ではない（「がんプロ共通科目」（e-learning）が必修）。 「重粒子線医理工学グローバルリーダー養成プログラム・重粒子線医理工連携コース」の者は、（*）の科目を1単位以上含み、3単位以上選択必修 「医療開発医科学コース」の者は2単位以上を履修する。 |
| | | 研究倫理（e-learning） | 1 | | | |
| | | 脳神経科学講義 | 1 | | | |
| | | 内分泌・発達・代謝学講義 | 1 | | | |
| | | 腫瘍学講義 | 1 | | | |
| | | 重粒子線臨床医工学講義（*） | 1 | | | |
| | | 重粒子線基礎医工学講義（*） | 1 | | | |
| | | 放射線診断核医学講義（**） | 1 | | | |
| | | 感染症・免疫学講義 | 1 | | | |
| | | 社会医療学講義 | 1 | | | |
| 共通科目 | 医学基礎技術実習 | 実験基本技術 | | | 1 | 3単位以上を履修する。 「関東次世代がん専門医療人養成コース」の者は必修ではない。（「がんプロ共通科目」（e-learning）が必修） 「重粒子線医理工学グローバルリーダー養成プログラム・重粒子線医理工連携コース」の者は、（*）の科目を2単位以上含み、3単位以上選択必修 「医療開発医科学コース」の者は2単位以上を履修する。 |
| | | バイオインフォマティクス実習 | | | 1 | |
| | | 小動物操作基礎技術 | | | 1 | |
| | | 細胞培養基礎技術 | | | 1 | |
| | | 遺伝子解析基礎技術 | | | 1 | |
| | | 蛋白発現基礎技術 | | | 1 | |
| | | 微小形態・病理学実習 | | | 1 | |
| | | 蛋白化学実習 | | | 1 | |
| | | 胚操作技術 | | | 1 | |
| | | in vitro神経活動計測 | | | 1 | |
| | | 放射線生物学実習（*） | | | 1 | |
| | | 医科学英語論文作成実習（*） | | | 1 | |
| | | 放射線測定実習（*） | | | 1 | |
| | | 生体イメージング実習 | | | 1 | |
| | | システムティック・レビュー実習 | | | 1 | |
| 医療サービス研究・質評価学実習 | | | 1 | | | |
| 生命倫理公開セミナー | 社会貢献促進セミナー | | | 2 | 4単位を履修する。 | |
| | | 医学哲学・倫理学セミナー | | 2 | | |
| 研究成果考察セミナー | 脳神経科学セミナーⅠ | 脳神経科学セミナーⅠ | | 1 | 研究発表討論セミナーを含み、4単位以上を履修する。 「重粒子線医理工学グローバルリーダー養成プログラム・重粒子線医理工連携コース」の者は、研究発表討論セミナーに関してQE（Qualifying Examination）を行う。 | |
| | | 脳神経科学セミナーⅡ | | 1 | | |
| | | 内分泌・発達・代謝学セミナーⅠ | | 1 | | |
| | | 内分泌・発達・代謝学セミナーⅡ | | 1 | | |
| | | 腫瘍学セミナーⅠ | | 1 | | |
| | | 腫瘍学セミナーⅡ | | 1 | | |
| | | 感染症・免疫学セミナーⅠ | | 1 | | |
| | | 感染症・免疫学セミナーⅡ | | 1 | | |
| | | 社会医療学セミナーⅠ | | 1 | | |
| | | 社会医療学セミナーⅡ | | 1 | | |
| 研究発表討論セミナー | 研究発表討論セミナーⅠ | | | 1 | | |
| | | 研究発表討論セミナーⅡ | | 1 | | |

| | | | | | | |
|------------------|--------------------------|---|--|---|---|--|
| | がんプロ共通科目 (e-learning) | 臨床研究と生物統計学 生命倫理と法的規則 基礎腫瘍学 臨床腫瘍学概論 精神・社会腫瘍学と患者教育 医療ケアチームと医療 がんゲノム医療学 小児・AYA・希少がん学 ライフステージに応じたがん医療学 がん治療を支える多領域 がんデータ科学推進 がん治療イノベーション | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | | | 「関東次世代がん専門医療人養成コース」の者は、次の区分に応じ履修する。 がん治療を支える多領域人材養成コースの者 がん治療を支える多領域を含み、4単位以上履修する。 がんデータ科学推進人材養成コースの者 がんデータ科学推進を含み、4単位以上履修する。 がん治療イノベーション人材養成コースの者 がん治療イノベーションを含み、4単位以上履修する。 |
| 専 門 科 目 | 未来医療共通科目 | 医療開発医科学概論 | | | 2 | 「医療開発医科学コース」の者は2単位を履修する。 |
| | 特別講義 | 専攻分野単位で開設する講義（下記のとおり） | 4 | | | 指導教員が指定する科目を含み、8単位以上を履修する。 |
| | 大学院チュートリアル演習 | 専攻分野単位で開設する演習（下記のとおり） | | 2 | | 指導教員が指定する科目4単位以上を履修する。 |
| | 専門分野技術実習 | 専攻分野単位で開設する実習（下記のとおり） | | | 2 | 指導教員が指定する科目4単位以上を履修する。 |
| 大学院共通科目 | | 群馬大学大学院共通科目に関する内規別表に定める科目 | 群馬大学大学院共通科目に関する内規別表に定めるとおり | | | 指導教員が教育上必要と認める科目を履修することができる。 |

専門科目の内訳

| 領域・講座 | 授 業 科 目 名 | | |
|------------|----------------|--------------------|----------------|
| | 特 別 講 義 (4単位) | 大学院チュートリアル演習 (2単位) | 専門分野技術実習 (2単位) |
| 基礎・基盤医学領域 | 機能形態学講義 | 機能形態学演習 | 機能形態学実習 |
| | 生体構造学講義 | 生体構造学演習 | 生体構造学実習 |
| | 分子細胞生物学講義 | 分子細胞生物学演習 | 分子細胞生物学実習 |
| | 生化学講義 | 生化学演習 | 生化学実習 |
| | 応用生理学講義 | 応用生理学演習 | 応用生理学実習 |
| | 脳神経再生医学講義 | 脳神経再生医学演習 | 脳神経再生医学実習 |
| | 薬理学講義 | 薬理学演習 | 薬理学実習 |
| | 遺伝発達行動学講義 | 遺伝発達行動学演習 | 遺伝発達行動学実習 |
| | 細菌学講義 | 細菌学演習 | 細菌学実習 |
| | 生体防御学講義 | 生体防御学演習 | 生体防御学実習 |
| | 公衆衛生学講義 | 公衆衛生学演習 | 公衆衛生学実習 |
| | 法医学講義 | 法医学演習 | 法医学実習 |
| | 医学哲学・倫理学講義 | 医学哲学・倫理学演習 | 医学哲学・倫理学実習 |
| 医学教育開発学講義 | 医学教育開発学演習 | 医学教育開発学実習 | |
| 臨床医学領域 | 循環器内科学講義 | 循環器内科学演習 | 循環器内科学実習 |
| | 呼吸器・アレルギー内科学講義 | 呼吸器・アレルギー内科学演習 | 呼吸器・アレルギー内科学実習 |
| | 消化器・肝臓内科学講義 | 消化器・肝臓内科学演習 | 消化器・肝臓内科学実習 |
| | 内分泌代謝内科学講義 | 内分泌代謝内科学演習 | 内分泌代謝内科学実習 |
| | 腎臓・リウマチ内科学講義 | 腎臓・リウマチ内科学演習 | 腎臓・リウマチ内科学実習 |
| | 血液内科学講義 | 血液内科学演習 | 血液内科学実習 |
| | 脳神経内科学講義 | 脳神経内科学演習 | 脳神経内科学実習 |
| | 腫瘍内科学講義 | 腫瘍内科学演習 | 腫瘍内科学実習 |
| | 循環器外科学講義 | 循環器外科学演習 | 循環器外科学実習 |
| | 呼吸器外科学講義 | 呼吸器外科学演習 | 呼吸器外科学実習 |
| | 消化管外科学講義 | 消化管外科学演習 | 消化管外科学実習 |
| | 乳腺・内分泌外科学講義 | 乳腺・内分泌外科学演習 | 乳腺・内分泌外科学実習 |
| | 肝胆膵外科学講義 | 肝胆膵外科学演習 | 肝胆膵外科学実習 |
| | 小児外科学講義 | 小児外科学演習 | 小児外科学実習 |
| | 腫瘍放射線学講義 | 腫瘍放射線学演習 | 腫瘍放射線学実習 |
| | 放射線診断核医学講義 | 放射線診断核医学演習 | 放射線診断核医学実習 |
| | 神経精神医学講義 | 神経精神医学演習 | 神経精神医学実習 |
| | 麻酔神経科学講義 | 麻酔神経科学演習 | 麻酔神経科学実習 |
| | 救急医学講義 | 救急医学演習 | 救急医学実習 |
| | 総合医療学講義 | 総合医療学演習 | 総合医療学実習 |
| | リハビリテーション医学講義 | リハビリテーション医学演習 | リハビリテーション医学実習 |
| | 臨床検査医学講義 | 臨床検査医学演習 | 臨床検査医学実習 |
| | 病態病理学講義 | 病態病理学演習 | 病態病理学実習 |
| | 病理診断学講義 | 病理診断学演習 | 病理診断学実習 |
| | 小児科学講義 | 小児科学演習 | 小児科学実習 |
| | 産科婦人科学講義 | 産科婦人科学演習 | 産科婦人科学実習 |
| | 泌尿器科学講義 | 泌尿器科学演習 | 泌尿器科学実習 |
| | 脳神経外科学講義 | 脳神経外科学演習 | 脳神経外科学実習 |
| | 眼科学講義 | 眼科学演習 | 眼科学実習 |
| | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講義 | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学演習 | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学実習 |
| | 皮膚科学講義 | 皮膚科学演習 | 皮膚科学実習 |
| | 形成外科学講義 | 形成外科学演習 | 形成外科学実習 |
| | 整形外科学講義 | 整形外科学演習 | 整形外科学実習 |
| 臨床薬理学講義 | 臨床薬理学演習 | 臨床薬理学実習 | |
| 口腔顎顔面外科学講義 | 口腔顎顔面外科学演習 | 口腔顎顔面外科学実習 | |
| 医療の質・安全学講義 | 医療の質・安全学演習 | 医療の質・安全学実習 | |

| | | | |
|-----------|---|---|---|
| 協力講座・連携講座 | 臨床試験学講義 情報医療学講義 細胞構造講義 代謝エピジェネティクス講義 生体膜機能講義 個体代謝生理学講義 内分泌・代謝システム制御講義 分子糖代謝制御講義 代謝疾患医科学講義 粘膜エコシステム制御講義 ゲノム科学リソース講義 代謝シグナル解析講義 重粒子線医学物理学講義 重粒子線医学生物学講義 重粒子線臨床医学講義 食健康科学講義 数理データ科学講義 遺伝子治療学講義 生体機能解析学講義 | 臨床試験学演習 情報医療学演習 細胞構造演習 代謝エピジェネティクス演習 生体膜機能演習 個体代謝生理学演習 内分泌・代謝システム制御演習 分子糖代謝制御演習 代謝疾患医科学演習 粘膜エコシステム制御演習 ゲノム科学リソース演習 代謝シグナル解析演習 重粒子線医学物理学演習 重粒子線医学生物学演習 重粒子線臨床医学演習 食健康科学演習 数理データ科学演習 遺伝子治療学演習 生体機能解析学演習 | 臨床試験学実習 情報医療学実習 細胞構造実習 代謝エピジェネティクス実習 生体膜機能実習 個体代謝生理学実習 内分泌・代謝システム制御実習 分子糖代謝制御実習 代謝疾患医科学実習 粘膜エコシステム制御実習 ゲノム科学リソース実習 代謝シグナル解析実習 重粒子線医学物理学実習 重粒子線医学生物学実習 重粒子線臨床医学実習 食健康科学実習 数理データ科学実習 遺伝子治療学実習 生体機能解析学実習 |
|-----------|---|---|---|

特別コースの専門科目の内訳

| | | | |
|---|--|---|--------------------|
| 医理工連携共通 専門科目 | 医理工連携先端荷電ビーム特論 医理工連携放射線制御・計測特論 医理工連携先進イオンビーム応用工学特論 医理工連携システムと制御工学特論 | | |
| 医理工連携専門 科目 | | 重粒子線治療物理学演習 | インターンシップ 短期研修実習 |
| がんプロ 専門科目 | 特別演習（4単位） | 特別実習（4単位） | |
| 関東次世代がん 専門医療人養成 コース専門科目 (e-learning 含む) | がん治療を支える多領域特別演習 がんデータ科学推進特別演習 がん治療イノベーション特別演習 | がん治療を支える多領域特別実習 がんデータ科学推進特別実習 がん治療イノベーション特別実習 | |
| 未来医療 専門科目 | 医療開発医科学特別演習（4単位） | 医療開発医科学特別実習（4単位） | |
| 病理・法医学研 究医育成コース 専門科目 | 病理・法医学特別演習（4単位） | 病理学特別実習（2単位） 法医学特別実習（2単位） | |
| 特別コース | 重粒子線医理工学グローバルリーダー養成 プログラム・重粒子線医理工連携コース | 大学が別に定める履修例に従い上記科目から選択的に履修する | |
| | 関東次世代がん専門医療人養成コース ・がん治療を支える多領域人材養成コース ・がんデータ科学推進人材養成コース ・がん治療イノベーション人材養成コース | 大学が別に定める履修例に従い上記科目から選択的に履修する | |
| | 医療開発医科学コース | 大学が別に定める履修例に従い上記科目から選択的に履修する | |
| | 病理・法医学研究医育成コース | 大学が別に定める履修例に従い上記科目から選択的に履修する | |